

## T O P I C S

## 3Dプリンタによる九谷焼の開発支援

—思い通りのデザインを迅速に実現—

繊維生活部 餘久保優子(よくぼ ゆうこ)

yokubo@irii.jp

専門：製品デザイン、ユニバーサルデザイン  
 一言：デザイン活用でオリジナル品の開発を  
 支援します。



工業試験場では県内企業のモノづくりを支援するために、平成26年度に石膏・樹脂・金属の3種類の3Dプリンタを導入しました。中でも石膏プリンタは、石膏粉末をカラーインクで固めながら造形することから、デザインの評価・改良に適しています。また造形物の積層痕が残りにくいので、陶磁器の収縮率を見込んでデータを編集すれば、原型製作に大きな威力を発揮します。

電気部品を作っている(株)ミランティ・ジャパン(加賀市)は、新規事業として九谷焼の骨壺の開発に取り組むことになり、3Dデータの作成から出力までの技術指導を行いました。その結果、企画段階でフルカラーモデルでのデザイン提案が可能となり、試作・検証のための時間とコストを

大幅に軽減することができました(図1)。

九谷焼のキャラクター製品を開発している(株)九谷陶泉(小松市)では、キャラクターを忠実に再現しないと、ライセンス管理者から使用許可が得られず、何度も試作を繰り返していました。そこで、三次元デジタイザでスキャンし、陶磁器の収縮率を見込んでデータを編集し、3Dプリンタ出力するという一連の技術指導を行い、スムーズに使用許可を得ることができました。さらに、これまでの方法に比べ、試作期間が約10分の1、費用が約2分の1で原型製作を行うことができました(図2)。

3Dプリンタは、思い通りのデザインを迅速に実現する大変便利な機器です。是非ご利用ください。



図1 最終イメージに近いフルカラーモデルの骨壺

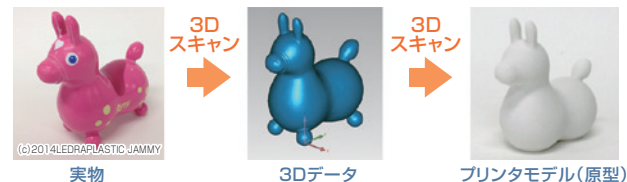


図2 3Dプリンタを活用した原型試作の流れ